

様式2

教科名	国 語
-----	-----

学校名 貫井中学校

○現状分析（生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表）

学習状況の実態	内容別・観点別結果の分析
<ul style="list-style-type: none"> ・授業への意欲・関心・態度は、どの学年も前向きに取り組む生徒が多い。しかし、教科書忘れや宿題忘れなどが特定の生徒に見受けられる。 また、塾に行っている生徒も多く、家庭学習をあまりしていない傾向がある。 ・感想文や主張文・創作文など、書くことに対して抵抗感のある生徒が多い。 ・書いた感想文や主張文・創作文などを、みんなの前で発表するのも緊張して小さな声や早口になってしまう生徒もいる。 ・班での話し合いや他の人の作品を読んだ感想やアドバイスなども、個人差がある。 ・小テストや定期考査に向けての取組状況は、模擬問題などを学年で作成して行い、朝学習などで一生懸命取り組んでいる生徒が多い。 ・朝読書を実施しているので、多くの生徒はいろいろなジャンルの本を読み、心を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生は、都の学力調査の結果から分析すると、関心・意欲・態度や書く技能・読む能力が東京都の平均を上回っている。しかし、思考・判断・表現の話す・聞く能力は少しだけ下回っている。また、取り出す力・読み取る力・解決する力の全ての観点で都の平均を上回っている。 ・3年生は、全国学力調査の結果から分析すると、意欲・関心・態度や話す・聞く能力は全国の平均をわずかだが上回っている。しかし、書く力・読み取る力が平均より少し下回っている。 ・今後も生徒たちの意欲・関心をそそるような教材資料の工夫をしていく。また、感想文・創作文・主張文など書く授業を多く取り入れていく。更には、言語の知識・理解についても、小テストなどを実施し、反復練習を取り入れていく。

(書式 3)

指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	国 語	教科主任	岩 崎 陽
-----	-----	------	-------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・文字をしっかり読み書きする力を付ける必要がある。・関連を考えて的確に読み取る力を付ける必要がある。・自分の考えをまとめたり、発表したりする力が必要である。・読書に親しみ、進んで読書を行う力が必要である。	<ul style="list-style-type: none">・書写での硬筆指導で、文字を書く際の姿勢や整え方等を再確認する。・ワークや漢字小テストをもとにして日常的に学習する。・自分の考えや意見を表現する場や発表する場をつくる。・読書記録を行い、様々な情報を通して読書意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none">・隔週1回の漢字小テストを行い、予習・復習を行う。・ノート作りの指導を適宜行う。・スピーチ、聞き取りなどを中心に「話す・聞く」学習を行う。 <p>※学校図書館の活用 ※学校生活支援員の活用 ※夏季補充教室の実施</p>

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・語彙を増やし、漢字を含めた文字をしっかり読み書きする力が必要である。・関連を考えて効果的に読む力を付ける必要がある。・自分の考えを理由付けして簡潔にまとめたり、適切に内容を伝えたりする力を付ける必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・辞書を活用した学習を行う。・ワークや漢字小テストをもとにして日常的に学習させる。・自分の考えや意見を表現する場や発表する場をつくる。・資料集の写真や絵、グラフなどの視覚情報を活用しながら学習意欲にむすび付けていく。	<ul style="list-style-type: none">・週1回漢字小テストを実施する。・確認プリントや小テストなどを行い、学びの程度を確認する。・ノート作りの指導を適宜行う。・「話す・聞く」学習を行う。 <p>※は同上</p>

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・語彙を増やし、漢字を含めた文字をしっかり読み書きする力を付ける必要がある。・関連を考えて、展開や表現の仕方などを評価しながら読む力を付ける必要がある。・自分の考えを的確にまとめたり、発表したりする力が必要である。	<ul style="list-style-type: none">・辞書を活用した学習を行う。・ワークや漢字小テストを基にして日常的に学習する。・書写の授業との関連を図る。・図書資料などを使い、様々な文章や写真、図に触れさせる。・ワークシートを活用して考えをまとめたり、短作文を書き、互いに読み合ったり、発表し合う活動を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none">・ワーク点検、小テストの採点をこまめに行い、やり直しをさせる。・单元ごとに確認プリントを作り、学習事項を整理させる。・ノート作りの声かけを積極的に行う。・「話す・聞く」の学習を行う。 <p>※は同上</p>